

はじめに

一関市教育委員会

教育長 小 菅 正 晴

今日の教育を取り巻く社会環境は、多様に変化しており、グローバル人材の育成、キャリア教育の推進、子どもの状況に応じた特別支援の充実、いじめ防止等の対策、人格形成の基礎となる幼児教育の振興など、教育の質の向上が求められております。

また、市民の学習意欲の高まりに応じた多様な学習機会を提供することや、先人からの文化を受け継いでいくこと、文化財を保護し、活用することが求められております。

現在、市立小中学校は、小学校が28校、中学校が16校の合わせて44校であります。児童生徒の減少から今後においても学校統合が計画されております。

少子化が進むなかで、一関の持続的な発展を支えていくためには、心身共に健やかな人材の育成が欠かせないものと認識しており、将来を担う子どもたちが、ふるさと一関に誇りと愛着を持ち、地域を支える人材に成長するよう、教育行政を推進してまいります。

本年度は、平成28年度から令和7年度までを計画期間とする「一関市教育振興基本計画」の後期事業計画の初年度となります。この計画の基本目標である『いしずえ学びの風土を礎に 心豊かにたくましく 郷土の誇りを未来につなぐ 一関の人づくり』の実現に向けて、「ことばを大切にする教育プロジェクト」、「グローバル人材育成プロジェクト」、「学校と地域の協働推進プロジェクト」及び「世界遺産拡張登録推進プロジェクト」の四つの重点プロジェクトを中心に積極的に教育施策を展開してまいりたいと考えております。

新型コロナウイルス感染症の収束は、依然として見通しが立たず、学校行事の中止や縮小が余儀なくされておりますが、子どもたちの成果を発揮する場、体験を通して学べる機会を提供できるよう今後も調整を図ってまいります。

また、学校教育においては、引き続き子どもたちの健康を第一に考え、国が示す学校の新しい生活様式を踏まえた衛生管理を行いますとともに、「GIGAスクール構想」によるICTを活用した教育環境の整備・充実を進めていく所存です。

このたび、当市の教育の現状や振興の施策などを、皆様に紹介するため、「いちのせきの教育」を刊行いたしました。本書が幅広く活用され、より一層のご理解を深めていただく一助になれば幸いです。

結びに、当市の教育行政施策の推進にあたりまして、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます、挨拶といたします。

目 次

一関市の概要	(4)
教育行政	
I 教育委員会	(5)
1 教育委員 2 教育委員会機構図 3 市の関係課等	
II 令和3年度教育行政方針	(7)
III 教育財政	(12)
1 令和3年度一関市一般会計当初予算 2 教育費の内訳	
3 学校の校地、建物の面積と教室数	
学校教育	
一関市学校教育の基本構想	(17)
I 令和3年度学校教育行政の方針及び指導の重点	(18)
II 幼稚園教育の方針及び重点	(20)
III 学校教育関係事業	(21)
1 重点課題・事業等について 2 市教育委員会指定研究校等について	
3 総合訪問 4 一関市幼・小・中・高・特・高専・大学校運営推進協議会	
5 文部科学省・岩手県教育委員会・県研究団体等	
IV 市内各学校(園)の概況	(25)
1 児童生徒数・学級数・教職員数	
2 学校紹介	
(1) 小学校 (2) 中学校 (3) 高等学校 (4) 高等専門学校・短期大学	
(5) 特別支援学校 (6) 幼稚園・認定こども園	
V 学校保健	(71)
1 児童・生徒の健康	
令和2年度身長・体重(男女別平均値)	
2 学校保健団体等	
(1) 令和3年度一関市立学校医・学校歯科医・学校薬剤師 (2) 一関市学校保健会役員	
(3) 一関市学校保健会評議員	
3 学校給食	
(1) 学校給食の現状 (2) 学校給食センター	
VI 各種委員会	(80)
1 一関市中学生の社会体験学習実行委員会	
2 一関市就学支援委員会	
3 一関市生徒指導推進連絡協議会	
4 一関市いじめ問題対策連絡協議会	
5 一関市学校給食センター運営委員会	
6 一関市幼・小・中・高・特・高専・大学校運営推進協議会	
7 一関市奨学生選考委員会	

VII	令和3年度一関市教育研究所の運営について	(87)
1	運営方針	
2	運営の重点	
3	運営組織	
4	運営の方針及び重点に基づく各事業内容	
5	令和3年度事業計画	
6	各事業計画	

社会教育

I	社会教育行政の方針	(91)
	◎一関市教育振興基本計画の概要	
	◎令和3年度社会教育行政の方針	
	◎令和3年度文化財行政の方針	
II	令和3年度社会教育行政施策の体系と事業	(98)
1	社会教育行政の方針	
2	文化財行政の方針	
3	令和3年度事業計画書	
III	社会教育関係施設紹介	(110)
1	市民センター	
2	図書館	
3	社会教育文化施設	
4	宿泊交流研修施設	
IV	指定等文化財一覧	(138)
V	社会教育関係委員	(144)
1	社会教育委員	
2	一関市立図書館協議会委員	
3	いちのせき健康の森運営委員会委員	
4	文化財調査委員	
5	博物館協議会委員	
6	石と賢治のミュージアム運営委員会委員	
7	芦東山記念館運営委員会委員	
8	骨寺村荘園遺跡指導委員会委員	
資料 I	一関市教育委員会歴代委員	(146)
II	一関市教育委員会の沿革	(147)

一関市の概要

一関市は、岩手県の南端に位置し、南と東は宮城県、西は秋田県と接しています。特に宮城県北地域との結びつきは強く、北上川を介しての交流も古くから行われてきました。

一関市は、四季折々に多彩な表情を示すめぐみ豊かな自然に包まれています。そのなかで象徴となっているのは、市の西側、奥羽山脈にそびえる栗駒山と、市の東側、緩やかな丘陵地が広がる北上高地の独立峰となっている室根山などの山々です。栗駒山の周囲には深い森が広がり、湯量豊富な須川温泉をはじめ多くの温泉に恵まれています。北上高地は隆起準平原地形で、なだらかな高原には牧場が各所に開かれています。また、平泉の歴史との関わりが深い東稲山も特徴的な山容を見せています。

北上平野の南端部にあたる市の中央部には標高の低い平地が広がり、東北一の大河北上川がゆるやかに流れています。北上川の支流は、西から磐井川、金流川、東から砂鉄川、千厩川などが注ぎ込み、流域に水のめぐみをもたらしています。磐井川の中流域には溪谷美を誇る巖美溪、砂鉄川には石灰岩地帯を深く刻み込んだ猊鼻溪があり多くの観光客が訪れる名所となっています。

一関市の歴史は古く、旧石器時代から人が住み始めた形跡が見られ、縄文時代や弥生時代の遺跡も各地にあります。平安時代には安倍氏、藤原氏が独自の文化を築き上げ、その後葛西氏、伊達氏、田村氏の治世下に置かれました。

明治の近代化以降の地域の成り立ちは、明治の廃藩置県によって胆沢県、一関県、水沢県、磐井県と変遷し、明治9年に岩手県に編入されました。戦後まもなくまでは、32の町村に分かれていました。

昭和23年から33年にかけてのいわゆる昭和の大合併によって、旧一関市、旧花泉町、旧大東町、旧千厩町、旧東山町、旧室根村、旧川崎村、旧藤沢町となり、平成17年9月20日に7市町村が合併し、さらに平成23年9月26日には旧藤沢町との合併を経て現在の一関市となりました。

教 育 行 政

教育行政

I 教育委員会

1 教育委員



千葉委員
(職務代理者)



小菅教育長



佐藤委員



伊藤委員

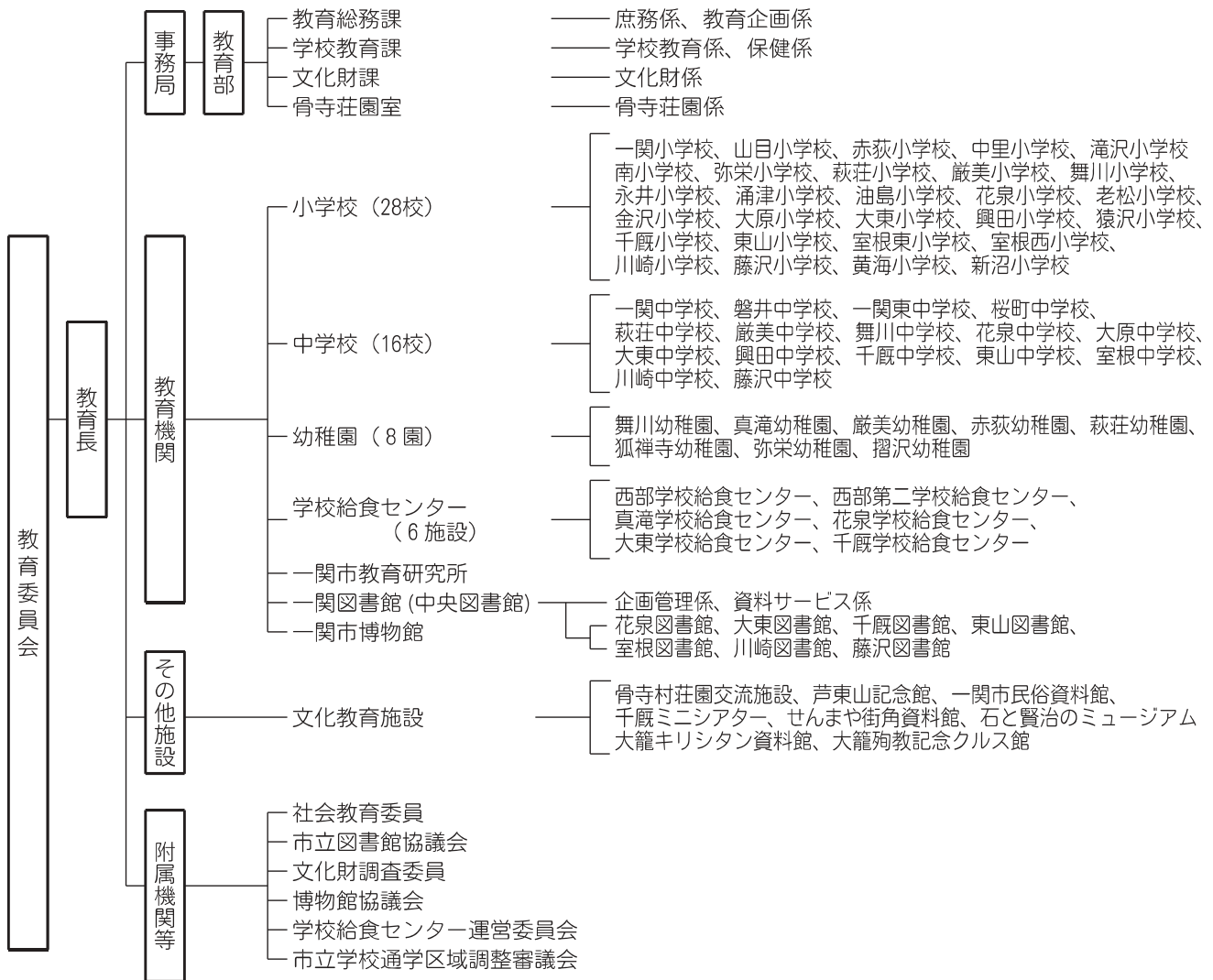


桂島委員

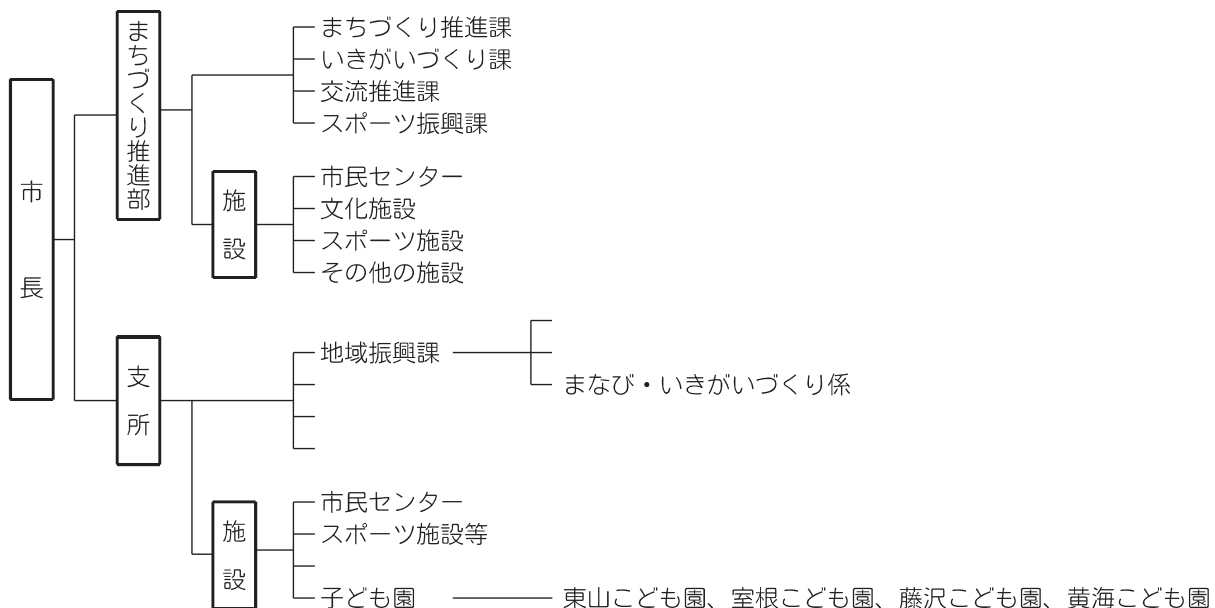
令和3年7月1日現在

職務	氏名	委員の任期
教育長	小菅正晴	令和5年10月28日
教育長職務代理者	千葉和夫	令和4年10月28日
委員	佐藤一伯	令和6年10月28日
委員	伊藤一志	令和3年10月28日
委員	桂島加奈子	令和5年10月28日

2 教育委員会機構図



3 市の関係課等



II 令和3年度教育行政方針

学びの風土を礎に 心豊かにたくましく 郷土の誇りを未来につなぐ 一関のひとづくり

1. はじめに

今日の教育を取り巻く社会環境は、急激にグローバルに変化してきております。

そのような時代を生き抜く人材の育成を目標として、キャリア教育の推進、ICT活用能力の育成、特別支援の充実、いじめや不登校への対策、幼児教育の振興、持続可能な開発目標（SDGs）の理念をふまえることなど、教育の質の向上が一層求められております。

また、市民の学習意欲の高まりに応じた多様な生涯学習機会を提供することや、先人からの文化を受け継いでいくこと、文化財を保護し、活用することが求められております。

これらの教育への社会的要請に応え、一関の持続的な発展を支えていくためには、生涯学習の機会を促進するとともに、将来を担う心身共に健やかな人材の育成が欠かせません。

子どもたちが、ふるさと一関に誇りと愛着を持ち、知徳体の資質を兼ね備えた地域を支える人材に成長するよう、教育行政を推進してまいります。

2. 重点的に取り組む施策（重点プロジェクト等）

令和3年度は、教育振興基本計画後期事業計画の初年度であり、計画の目標に掲げた「学びの風土を礎に心豊かにたくましく 郷土の誇りを未来につなぐ 一関の人づくり」、この実現に向けて、四つのプロジェクトを重点としながら、計画を着実に推進してまいります。

それでは、四つの重点プロジェクトから、申し上げます。

(1) ことばを大切にする教育プロジェクト

一つ目は、「ことばと読書」、「ことばの響き」、「ことばの先人」を柱として、子どもたちに、語彙の豊かさ、ことばの感性、心の豊かさを育むことを目指す「ことばを大切にする教育プロジェクト」であります。

「ことばと読書」については、学校図書館の一層の充実のため、これまで東地区に限られていた学校図書館のネットワーク化を市内全域に広げ、バーコード読み取りによる貸出しと蔵書管理の一元化を図ります。

「ことばの響き」について幼稚園等では、「ことばの時間」に響きやリズムのよい諺などを楽しみながら触れさせてまいります。

小学校では、市が独自に作成し、この度改訂した「ことばのテキスト『言海』」を用いて、音読・素読に取り組み、一層の質の向上を目指しながら、ことばの感性を高めてまいります。

「ことばの先人」については、「ことばのテキスト『言海』」の先人ページを取り上げること、また博物館学芸員が小中学校において、ことばを通じて人々に大きく影響を与えた先人を学ぶ授業を行うことにより、郷土の歴史に対する理解を深め、郷土への誇りを育ててまいります。

(2) グローバル人材育成プロジェクト

二つ目は、グローバル化していく現代社会に対応できる人材の育成を目指す「グローバル人材育成プロジェクト」であります。

キャリア教育については、「地域に学び、地域で育てる」という視点に立って、全ての中学2年生が5日間の社会体験学習に取り組んでまいります。

また、中学生最先端科学体験研修や小中学生を対象とした英語の森キャンプの実施、外国語指導助手（ALTや英語学習指導専門員）の派遣などを進めてまいります。加えて、英語検定料補助を通して、英語の力を高めようとする中学校生徒の意欲を支援します。

さらに、GIGAスクール構想に基づき、学校のICT環境を充実させ、小中学校の授業において1人1台タブレット端末の活用を推進してまいります。

併せて、グローバル化する社会にあっても土台となるアイデンティティを確立させるため、郷土の先人や歴史・文化を題材にした学習を進めてまいります。

(3) 学校と地域の協働推進プロジェクト

三つ目は、地域とともに歩む学校を目指す「学校と地域の協働推進プロジェクト」であります。

学校の情報や活動の様子をホームページ等で発信するとともに、学校運営に保護者や地域住民が学校評議員や学校運営協議会として関わるなど、地域社会全体で子どもたちの健やかな成長を育む取り組みを進めてまいります。

(4) 世界遺産拡張登録推進プロジェクト

四つ目は、骨寺村荘園遺跡の世界文化遺産拡張登録を目指す「世界遺産拡張登録推進プロジェクト」であります。

拡張登録の実現に向け、研究者など専門家の助言をいただきながら、重点的に文献研究や発掘調査を行うとともに、県・関係市町と連携して取り組みを進めてまいります。

また、重要文化的景観「一関本寺の農村景観」の保全活用に地域住民と協働で取り組むとともに、骨寺村荘園遺跡の理解を深めるため、骨寺大学や講演会を開催してまいります。

(5) 教育環境の充実

そのほか、児童生徒数の推移や学校施設の老朽化の状況などを踏まえ、より良い教育環境の確保のため、学校規模の適正化を進めております。

今後の計画としては、令和4年度に室根地域の2つの小学校を1校に、令和5年度に花泉地域の6つの小学校を1校に、大東地域の3つの中学校を1校に統合する予定であります。

室根小学校については、令和2年度に引き続き新校舎及び屋内運動場の建設に取り組んでまいります。花泉地域統合小学校についても、新校舎及び屋内運動場の建設に取り組んでまいります。大東地域統合中学校については、統合推進委員会の設置及び校舎改修に係る実施設計を進めてまいります。

また、令和2年度に実施した耐力度調査の結果を基に、一関小学校の改築について検討してまいります。

他の地域においても、今後の児童生徒数の推計などを示しながら、地域の方々や保護者等とともに、学校規模の適正化を考えてまいります。

以上は、令和3年度において特に重点的に取り組む内容ですが、現在の新型コロナウイルス感染症の流行下において、事業の実施については状況を見ながらの判断となります。

以降は教育行政の具体的な施策について、教育振興基本計画に定める施策の基本方向に沿って申し上げます。

3. 社会を生き抜く力を育む学校教育の充実

一つ目に「社会を生き抜く力を育む学校教育の充実」について申し上げます。

(1) 確かな学力の育成

確かな学力の育成については、算数・数学を重点教科に位置づけ、学習支援員の配置による指導を行うほか、基礎計算力、集中力を高めるために、百ます計算に代表される「陰山メソッド」を取り入れるなど、児童生徒の基礎学力の向上を図ってまいります。

また、「ことばの時間」での音読・暗唱や漢字力の重点化を通して、国語の基礎学力向上に努めてまいります。

(2) 豊かな心の育成

豊かな心の育成については、あらゆる教育活動の土台となるものであり、人としての在り方、考え方を常に意識させ指導にあたってまいります。その中心となる道徳教育においては、新学習指導要領で示された「考える道徳・議論する道徳」を推進してまいります。

このほか、積極的に自然体験、社会体験活動を取り入れ、SDGsの理念とも関連させながら、福祉やボランティア活動などを通して社会に関わる心構えや姿勢を培ってまいります。

(3) 健やかな体の育成

健やかな体の育成については、保健面からは、児童生徒がバランスの取れた食事や規則正しい生活など、望ましい生活習慣について考え、実践していく取り組みを推進してまいります。

運動面からは、体育授業の充実のほか、家庭と協力しながら1日60分以上の運動、いわゆる「60(ろくまる)運動」など、日常的に運動の機会を確保する取り組みを推進してまいります。

なお、中学校の部活動については、教育委員会と校長会で定めた「部活動の在り方に関する方針」に基づき、引き続き各学校では平日週1日と日曜日を休養日に設定し、体力や競技力の向上とともに健康や生活とのバランスにも配慮した活動を推進してまいります。

(4) 学校給食

学校給食については、安全・安心な給食の提供に努めるとともに、地場産品や「もち」などの郷土食の提供のほか、望ましい食習慣の形成に向けた食育指導を充実してまいります。

(5) 社会の変化に応じた教育

社会の変化に応じた教育については、職業観・勤労観の育成を図りつつ、変化に柔軟に対応する力を育むためのキャリア教育を、発達段階に応じて推進してまいります。

また、児童生徒1人1台タブレットなどのICTを活用した授業を有効に展開し、学力の定着や、情報活用能力を育成してまいります。そのために、ICT指導員を中心に、教員のICT機器活用能力の向上を図ってまいります。

(6) 特別支援教育

特別支援教育については、幼児期からの就学相談体制の充実を図るとともに、幼稚園には、きめ細かな指導支援員を配置し、小学校には学校サポーターの配置を行い、一人ひとりに応じた支援を充実してまいります。

(7) 学校適応指導

学校適応指導については、不登校児童生徒の割合が増加傾向にあることから、各学校では新規の不登校児童生徒を出さないことを重点に取り組みを進めます。

また、不登校児童生徒に対しては、適応支援教室「TANPOPO(たんぽぽ)広場」における学習支援と交流体験活動などを充実させるとともに、一人ひとりの状況を踏まえながら、ICT機器活用による指導と交流についても研究してまいります。

(8) いじめ対策

いじめへの対策については、各学校の「いじめ防止基本方針」に基づき組織的に対応し、いじめの早期発見・早期対応・未然防止に努め、関係機関との情報共有や連携を強化してまいります。

(9) 幼稚園

幼稚園については、新教育要領で重点とされている「幼児期の終わりまで育ってほしい10の姿」を念頭に、小学校との連携を密接にし、就学前教育を充実してまいります。

(10) 学校安全

学校安全については、放射性物質による汚染対策として、引き続き、学校施設や給食食材等の放射線量を測定してまいります。

また、スクールガードの巡回指導や地域ボランティア等の見守り活動の協力をいただきながら、登下校時における児童生徒の安全を確保するとともに、災害等の緊急時における行動について指導してまいります。

(11) 教職員の働き方改革

教職員の働き方改革については、業務内容の見直しや勤務時間を意識した働き方を進めるなど長時間勤務の是正を図り、教職員がいきいきと仕事に向かうことができるよう改善を進めてまいります。

4. とともに学び、まちとひとをつくる社会教育の推進

二つ目に「とともに学び、まちとひとをつくる社会教育の推進」について申し上げます。

(1) 社会教育

社会教育については、市民が生涯にわたって自ら学ぶことができるよう、ニーズに対応した市民センター等での講座を企画するなど、多様な学習機会を提供してまいります。

また、これらの取り組みや地域づくり活動に活かすため、指定管理を行っている市民センターの職員が社会教育主事講習を受講する際の費用等について支援してまいります。

(2) 家庭教育

家庭教育については、家庭での教育やしつけなどを通して子どものモラルの土台が育まれるものことから、「いちのせきの家庭教育10か条」の普及を図り、教育の原点である家庭教育を支援してまいります。

また、昨今スマートフォンやゲーム機などの通信機器の利用については、依存やトラブルなどの弊害が多く見られることから、小学生では午後8時以降、中学生では午後9時以降にはそれらを居間に置いて使わない運動（居間8（イマハチ）ルール、居間9（イマキュウ）ルール）を子ども、家庭、学校と協力して進めてまいります。

(3) 図書館

図書館については、市全体の貸出冊数が県内市町村で最多となっており、多くの方々に利用されているところであります。

今後も、図書館サービスの向上に努めるとともに、令和2年度に導入した電子書籍やデータベースの充実による多様な読書方法の提供に努め、市民が集う地域の情報拠点としての役割を一層高めてまいります。

また、市内8館が地域の特色を生かした運営を進めるとともに、学校図書館への支援や、乳幼児健診等での読み聞かせの実施、移動図書館車による高齢者施設への訪問など、館外サービスにも取り組んでまいります。

(4) 博物館

博物館については、市民はもとより、周辺市町村をはじめとして全国各地からの入館者もあるなど当地方における歴史や文化に対する関心が高まっていることから、更なる運営の充実に努めてまいります。

令和3年度は、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかった企画展、棟方志功展のほか、奥の細道サミットin平泉・一関関連事業として、松尾芭蕉などの当地域を旅した人々とその影響を紹介する特別展を開催してまいります。

また、テーマ展や各種講座、体験学習など事業の充実に努めるとともに、スマートフォンを活用した展示ガイドを導入してまいります。併せて、民俗資料館、芦東山記念館、石と賢治のミュージアム及び大籠キリシタン殉教公園についても、企画・展示の充実に努めるなど、身近な場所で地域の歴史・文化が学べる場を提供してまいります。

5. 誇りと愛着を醸成する文化の継承

三つ目に「誇りと愛着を醸成する文化の継承」について申し上げます。

(1) 文化財の保護

文化財の保護については、文化財の修繕や保護活動への助成等により、地域の文化財を良好な形で後世に伝えてまいります。

また、文化財等の標柱解説板整備により、当市の歴史や文化の理解促進と文化財保護意識の啓発に努めてまいります。

(2) 地域文化の伝承

地域文化の伝承については、民俗芸能の調査研究を進めるとともに、郷土芸能団体の活動を支援するほか、地域ゆかりの偉人・先人たちについての調査研究に努めてまいります。

6. おわりに

以上、令和3年度の教育行政施策の概要を申し上げますが、令和3年度は、一関市教育振興基本計画後期事業計画の初年度にあたります。向こう5年間の教育の方向性を見据えつつ、計画的にその初年度に取り組んでまいります。

なお、現在進めている施策や業務について、スクラップアンドビルドの原則に立ち、より効果的で真に必要なものに精選していく、不断の見直しの視点も大切にしております。

各施策の推進にあたっては、学校、家庭、地域、企業、行政が共通理解のもと、当市の教育行政に携わる全ての関係者の連携・協働が必要であります。

教育委員会といたしましては、地域資源を活かした教育行政施策を進め、郷土の誇りを未来に引き継ぎ、新たな創造を加えてまいりたいと考えておりますので、議員各位並びに市民、教育関係者の皆さまのご理解、ご協力、ご指導を心からお願い申し上げます。

Ⅲ 教育財政

1 令和3年度一関市一般会計当初予算

(1) 歳入

款	予算額	構成比
1 市 税	12,004,760	18.04
2 地方譲与税	986,370	1.48
3 利子割交付金	6,904	0.01
4 配当割交付金	27,100	0.04
5 株式等譲渡所得割交付金	8,259	0.01
6 法人事業税金交付	95,659	0.14
7 地方消費税金交付	2,653,711	3.99
8 ゴルフ場金利用交付金	14,441	0.02
9 環境性能割税金交付	43,721	0.07
10 地方特例金交付	184,620	0.28
11 地方交付税	22,239,732	33.42
12 交通安全対策特別交付金	16,778	0.03
13 分担金及び負担金	275,755	0.41
14 使用料及び手数料	354,840	0.53
15 国庫支出金	7,003,034	10.53
16 県支出金	5,325,734	8.00
17 財産収入	697,137	1.05
18 寄附金	305,000	0.46
19 繰入金	5,410,475	8.13
20 繰越金	1	0.00
21 諸収入	1,007,954	1.52
22 市債	7,876,377	11.84
歳入合計	66,538,362	100.0

(2) 歳出

款	予算額	構成比
1 議会費	320,275	0.48
2 総務費	9,498,561	14.28
3 民生費	18,999,258	28.55
4 衛生費	6,106,935	9.18
5 労働費	177,053	0.27
6 農林水産業費	5,100,826	7.67
7 商工費	1,938,132	2.91
8 土木費	5,891,629	8.85
9 消防費	2,622,885	3.94
10 教育費	6,886,476	10.35
11 災害復旧費	2	0.00
12 公債費	8,945,988	13.44
13 諸支出金	342	0.00
14 予備費	50,000	0.08
歳出合計	66,538,362	100.0

2 教育費の内訳

(令和3年度当初予算)

内 訳	予算額 (千円)	構成比 (%)	内 訳 (単位：千円)
教育総務費	643,496	9.3	○教育委員会費（特別職給与費、教育委員会運営費、全国都市教育長協議会負担金、東北都市教育長協議会負担金、岩手県市町村教育委員会協議会負担金、学校施設財産処分積立基金積立金） 19,276
			○事務局費（職員給与費、会計年度任用職員給与費、教育委員会事務局運営費、奨学金貸付事業費、児童・生徒・学生顕彰事業費、県職員派遣費負担金、岩手県安全運転管理者部会連合会負担金、一関地区安全運転管理者事業主会負担金、私立高等学校生徒学費補助金、一関市学校保健会補助金、小学校閉校記念事業補助金、私立学校運営費補助金） 387,578
			○教育研究所費（会計年度任用職員給与費、学力実態調査事業費、教育研究事業費、教育研究所連盟負担金） 33,008
			○教育指導費（会計年度任用職員給与費、ことばの力を育てる教育推進事業費、教育指導事業費、外国語指導助手配置事業費、中学生の社会体験学習事業費、特別支援教育推進事業費、幼児ことばの教室事業費、障がい児就学支援事業費、学校不対応策支援事業費、市内幼小中高特高専大校運営推進事業費、中学生最先端科学体験研修事業費、命をつなぐプロジェクト事業費、学びの活性化事業費、いじめ問題対策事業費、日本学校教育学会学力向上支援事業費、一関地方教育推進協議会負担金、一関生徒指導推進協議会負担金、岩手県特別支援教育研究会負担金、岩手県難聴言語障がい教育研究会負担金） 203,634
小学校費	3,355,469	48.7	○学校管理費（職員給与費、会計年度任用職員給与費、施設管理費、学校運営事業費、学校給食事業費、学校保健事業費、公共施設等総合管理計画推進費、日本スポーツ振興センター負担金、学校安全互助会負担金、岩手県学校給食研究会負担金、特別支援学級設置学校長協議会負担金、一関市幼小教育連絡協議会負担金） 699,573
			○教育振興費（会計年度任用職員給与費、教材備品等購入費、理科設備用品購入費、図書購入費、指導用教科書購入費、就学援助費、特別支援教育就学奨励費、学校用コンピュータ整備事業費、遠距離通学対策事業費、小学校体育連盟補助金） 276,722
			○学校建設費（花泉地域統合小学校整備事業費、室根地域統合小学校整備事業費） 2,379,174
中学校	749,024	10.9	○学校管理費（職員給与費、会計年度任用職員給与費、施設管理費、学校運営事業費、学校給食事業費、学校保健事業費、公共施設等総合管理計画推進費、日本スポーツ振興センター負担金、学校安全互助会負担金、特別支援学級設置学校長協議会負担金） 483,069
			○教育振興費（会計年度任用職員給与費、教材備品等購入費、理科設備用品購入費、図書購入費、指導用教科書購入費、就学援助費、特別支援教育就学奨励費、学校用コンピュータ整備事業費、遠距離通学対策事業費、中学校文化活動補助金、英語検定料助成金、中学校文化連盟補助金、中学校体育連盟補助金） 244,857
			○学校建設費（大東地域中学校再編整備事業費） 21,098

内 訳	予算額 (千円)	構成比 (%)	内 訳	(単位：千円)
幼稚園	362,765	5.3	○幼稚園費（職員給与費、会計年度任用職員給与費、施設管理費、幼稚園運営事業費、幼稚園保健事業費、実費徴収補足給付費、幼稚園一時預かり事業費、公共施設等総合管理計画推進費、日本スポーツ振興センター負担金、岩手県国公立幼稚園・こども園協議会負担金、一関地区公立幼稚園研究協議会負担金、一関市幼小教育連絡協議会負担金）	362,765
学校給食センター費	1,001,853	14.5	○学校給食センター費（職員給与費、会計年度任用職員給与費、学校給食センター運営費、郷土愛を育む食育交流事業費、公共施設等総合管理計画推進費、岩手県学校給食センター協議会負担金）	1,001,853
社会教育費	773,869	11.3	○社会教育総務費（職員給与費、青少年健全育成事業費、英語の森キャンプ事業費、成人式開催費、学校施設開放事業費、地域学校協働活動事業費、岩手県社会教育連絡協議会負担金、教育振興運動実践活動補助金、社会教育関係団体活動費補助金、女性団体活動費補助金、キャンプ場開き開催補助金、ユネスコ協会活動費補助金、一般事務費）	254,097
			○文化財保護費（会計年度任用職員給与費、一般文化財費、埋蔵文化財費、文化財保存管理費、民俗芸能伝承記録保存事業費、骨寺村荘園遺跡調査研究事業費、文化的景観保護推進事業費、骨寺村荘園遺跡世界遺産登録推進事業費、骨寺村荘園遺跡保全活用事業費、文化財標柱・解説板整備事業費、ときめき世界遺産塾負担金、全国史跡整備市町村協議会負担金、全国文化的景観地区連絡協議会負担金、全国近代化遺産活用連絡協議会負担金、全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会負担金、岩手県文化財愛護協会負担金、岩手県史跡整備市町村協議会負担金、指定文化財保護事業補助金、郷土芸能活動事業補助金）	57,042
			○図書館費（会計年度任用職員給与費、施設管理費、運営事業費、巡回文庫費、図書館資料整備事業費、日本図書館協会負担金、岩手県図書館協会負担金、岩手県統計協会負担金、岩手県南第一地域視聴覚教育協議会負担金）	282,853
			○博物館費（会計年度任用職員給与費、資料関係費、展示費、調査研究費、交流連携費、運営事業費、施設管理費、企画展示費、古文書等資料調査費、骨寺村荘園調査研究費、民俗資料館運営事業費、公共施設等総合管理計画推進費、日本博物館協会負担金、全国美術館会議負担金、東北史学会負担金、岩手県博物館等連絡協議会負担金）	138,431
			○石と賢治のミュージアム費（会計年度任用職員給与費、施設管理費、自主事業費、岩手県博物館等連絡協議会負担金）	13,415
			○芦東山記念館費（会計年度任用職員給与費、施設管理費、自主事業費、調査研究費、岩手県博物館等連絡協議会負担金）	21,441
			○大籠キリシタン殉教公園費（施設管理運営費）	6,590
計	6,886,476	100		

3 学校の校地、建物の面積と教室数

令和3年5月1日現在

区 分	校地面積 (㎡)				建物面積 (㎡)				教室数				
	建物敷地	屋 外 運動場	その他	計	校 舎	屋 内 運動場	計	柔道場	普通 教室	特別 教室	計		
小 学 校	1 一 関	9,119	11,415	1,640	22,174	5,434	969	6,403	0	23	10	33	
	2 山 目	8,095	14,247	5,663	28,005	7,015	1,363	8,378	0	19	11	30	
	3 赤 萩	6,300	7,333	1,153	14,786	2,737	963	3,700	0	14	8	22	
	4 中 里	6,063	3,091	3,825	12,979	2,754	895	3,649	0	9	9	18	
	5 滝 沢	7,590	15,613	10,945	34,148	2,735	828	3,563	0	8	8	16	
	6 南	8,199	7,840	2,522	18,561	6,418	1,258	7,676	0	16	11	27	
	7 弥 栄	7,182	9,600	6,219	23,001	2,104	803	2,907	0	4	5	9	
	8 萩 荘	14,332	11,551	14,688	40,571	5,971	1,289	7,260	0	15	10	25	
	9 巖 美	4,456	4,668	2,329	11,453	2,109	696	2,805	0	8	7	15	
	10 舞 川	10,971	10,727	21,249	42,947	2,699	825	3,524	0	8	7	15	
	11 永 井	7,600	12,975	15,427	36,002	3,467	981	4,448	0	8	9	17	
	12 涌 津	3,500	5,750	5,499	14,749	2,289	683	2,972	0	8	9	17	
	13 油 島	6,224	12,160	4,896	23,280	2,060	825	2,885	0	5	5	10	
	14 花 泉	14,266	7,186	2,396	23,848	3,646	1,092	4,738	0	10	10	20	
	15 老 松	4,548	6,460	745	11,753	1,765	560	2,325	0	8	7	15	
	16 金 沢	3,125	8,961	2,516	14,602	1,796	698	2,494	0	8	6	14	
	17 大 原	7,553	9,306	3,226	20,085	3,515	1,019	4,534	0	9	6	15	
	18 大 東	8,348	12,600	4,405	25,353	4,121	1,076	5,197	0	11	10	21	
	19 興 田	5,762	17,955	5,532	29,249	3,387	1,022	4,409	0	6	7	13	
	20 猿 沢	4,417	5,773	626	10,816	2,218	720	2,938	0	7	7	14	
	21 千 厩	23,232	18,353	9,914	51,499	5,923	1,270	7,193	0	18	7	25	
	22 東 山	9,651	15,503	7,426	32,580	5,075	1,186	6,261	0	13	7	20	
	23 室根東	5,375	8,037	13,063	26,475	2,005	800	2,805	0	7	6	13	
	24 室根西	4,187	6,359	1,654	12,200	2,044	810	2,854	0	7	7	14	
				借 2,225	借 2,225								
	25 川 崎	4,948	4,315	14,245	23,508	2,565	702	3,267	0	8	7	15	
	26 藤 沢	14,591	4,800	1,528	20,919	4,723	1,127	5,850	226	9	8	17	
	27 黄 海	3,186	3,335	7,551	14,072	2,762	750	3,512	0	8	7	15	
28 新 沼	5,483	5,760	4,093	15,336	1,947	650	2,597	0	6	8	14		
計	218,303	261,673	174,975	654,951	95,284	25,860	121,144	226	280	219	499		
	借 0	借 0	借 2,225	2,225									

区 分	校地面積 (㎡)				建物面積 (㎡)				教室 数					
	建物敷地	屋 外 運動場	その他	計	校 舎	屋 内 運動場	計	柔道場	普通 教室	特別 教室	計			
中 学 校	1 一 関	15,110	19,037	28,921	63,068	3,965	1,237	5,202	448	9	14	23		
	2 磐 井	12,340	12,441	14,444	39,225	7,424	1,460	8,884	448	17	13	30		
	3 一関東	9,690	20,003	5,353	35,046	2,977	1,222	4,199	0	5	10	15		
	4 桜 町	14,890	9,086	1,014	24,990	4,386	1,237	5,623	0	11	12	23		
	5 萩 荘	5,330	15,585	7,528	28,443	3,132	1,189	4,321	0	8	12	20		
	6 巖 美	6,736	11,650		18,386	2,901	1,162	4,063	0	4	10	14		
	7 舞 川	5,569	8,527	借 205	借 205	1,791	858	2,649	0	4	8	12		
	8 花 泉	19,421	16,050	2,833	38,304	6,265	1,653	7,918	651	11	16	27		
	9 大 原	11,994	24,361		36,355	4,097	1,282	5,379	357	4	15	19		
	10 大 東	11,372	16,207	18,541	46,120	3,781	1,428	5,209	0	8	12	20		
	11 興 田	11,089	8,811	5,744	25,644	3,758	930	4,688	0	5	12	17		
	12 千 厩	14,400	13,300	借 1,410	借 1,410	5,887	1,337	7,224	588	12	14	26		
	13 東 山	14,602	12,586	20,420	47,608	3,597	1,202	4,799	417	7	16	23		
	14 室 根	13,676	30,830	13,550	58,056	3,832	1,125	4,957	427	5	12	17		
	15 川 崎	11,703	借 5,457	23,433	借 5,457	14,269	49,405	3,080	1,214	4,294	400	5	9	14
	16 藤 沢	12,017	20,726	1,166	33,909	3,759	1,155	4,914	357	9	12	21		
計	189,939	借 5,457	262,633	借 7,072	159,596	612,168	64,632	19,691	84,323	4,093	124	197	321	
幼 稚 園 ・ こ ど も 園	1 舞 川	1,400	1,650	2,066	5,116	621		621		3		3		
	2 真 滝	1,743	2,032	862	4,637	624		624		3		3		
	3 巖 美	1,336	1,304	790	3,430	589		589		3		3		
	4 赤 荻	960	1,517		2,477	505		505		3		3		
	5 萩 荘	1,461	1,116	943	3,520	473		473		3		3		
	6 狐禅寺	3,890	2,550	1,650	8,090	386		386		2		2		
	7 弥 栄	1,875	2,734	917	5,526	364		364		2		2		
	8 摺 沢	1,681	1,157		2,838	572		572		3		3		
	9 東 山	3,398	2,670	218	6,286	1,297		1,297		3		3		
	10 室 根	904	1,830	2,510	5,244	922		922		3		3		
	11 藤 沢	3,249	2,132	1,624	7,005	1,559		1,559		3		3		
	12 黄 海	3,105	1,331	293	4,729	889		889		3		3		
計	25,002	22,023	11,873	58,898	8,801		8,801		34		34			